

えん かん

いのちの円環

むらかみよしこ タペストリー展

～銀河への旅～



前作「いのちの祝祭」に続く《命の星シリーズ》の2作目。この作品は、亡くなった幼い我が子の命の痕跡を求めて、銀河の果てまでも捜し歩く物語です。大切な命を失った時に誰もが感じる底なしの喪失感。終着点のない旅だけれど、この頃やっとこの世界のいたるところにあの子を見出すことができるようになった。大地に身をゆだね草や木やたくさんの生きものたちの息を感じ、また風や水の流れをわが身の中に入れてみる。すると大地や空やあらゆる大自然に溶け込んで一体化したあの子の命の痕跡を感じ取れるようになった。

生命そのものの核心にせまる根源のスピリット。それは、縄文や世界中のネイティブの人々の中に息づいているスピリットでもある。大自然との深いつながりと共生感。死してのち自然の懐に帰り、再び生をとりもどすという「死と再生」。大自然のなかに宿る命の永遠性・繰り返し廻り連なっていく命の円環。死ののちには命の新しい円環があり、命の祝祭の場へ続く。本作品では遠い昔の恐竜の世界で見つけたあの子、北の極地で見つけたクジラのあの子、宇宙の銀河の渦にのったあの子など、きらめき輝く「いのち」が大きいタペストリー全体に躍動しています。羊毛の手紡ぎ・草木染・手織り作品。どうぞご覧下さい。



2016年 3月1日(火)～5月29日(日)

- 開館時間 午前9:30～午後5:00
- 休館日 月曜日(祝日は開館)
- 観覧料 一般400円 高校生200円 (中学生以下無料)
- アクセス 岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分



〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アートの創始者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。